

「シェアマイクロモビリティ自律・遠隔牽引実証実験」を実施
～製造・物流現場で培った自律搬送ロボット（AMR）技術を生活エリアに応用し、
地域のラストマイルを支える新たな移動・搬送サービスを検証～

ものづくり商社のリーディングカンパニーである株式会社山善（本社：大阪市西区、代表取締役社長：岸田貢司）の産業ソリューション事業部は、株式会社竹中工務店（本社：大阪府中央区、取締役社長：丁野成人）が主体となり実施した「シェアマイクロモビリティ自律・遠隔牽引実証実験」（以下、「本実証」）に、共同実施企業の1社として参画しました。



本実証は、大阪商工会議所と独立行政法人都市再生機構が共同で公募・採択した、大阪城東部地区のフィールド（UR 森之宮ビル「ほとりで」、UR 森之宮団地、UR 森之宮第2団地）を活用した実証実験事業の1つとして、2026年9月17日にUR 森之宮第2団地で実施しました。

近年、高齢化の進行などを背景に、生活をしている地域やマンション、団地内における短距離移動や荷物搬送、いわゆる「ラストマイル」の課題解決が求められています。また、近距離移動を中心に、電動キックボードなどの「シェアマイクロモビリティ」も普及しつつあります。こうした社会背景を踏まえ、本実証では、UR 森之宮第2団地においてシェアマイクロモビリティと自律・遠隔制御ロボットを組み合わせ、生活エリアにおける新たな移動・搬送サービスの可能性を検証しました。

産業ソリューション事業部は、製造・物流現場における人手不足の解決に向け、物流の自動化ソリューションの提供に注力しています。本実証では、AMRがマイクロモビリティを自動で牽引する仕組みの検証と、牽引に必要な連結装置と連結治具（ポール）の選定・導入を担当しました。当社がこれまで製造・物流現場で培ってきたAMR技術を団地という生活エリアへ応用しました。

本実証では、体験者がマイクロモビリティを呼び出すと、AMR がマイクロモビリティの待機場所まで移動して自動連結し、体験者のもとへ届けます。AMR は連結を解除し、体験者はマイクロモビリティで団地内を移動します。

本実証で使用した AMR は、当社が独自に開発した「YAMAZEN AMR」（牽引タイプ）です。足回りに、スズキ株式会社の多目的電動台車「MITRA」を採用し、屋内外や悪路面でも走行ができます。この「YAMAZEN AMR」に加え、本実証で使用される他社製 AMR に搭載する連結装置や、マイクロモビリティ・買物カートに取り付けるポールについても、当社が仕様の検討を行いました。ポールを連結装置に押し込むだけで自動的にロックされる仕組みで、この技術は製造・物流現場における台車などにも活用されています。

当社は本実証を通じ、製造業の現場で培った AMR 技術を暮らしの場へと展開し、ロボットが人々の生活を支える未来の実現に貢献してまいります。

◆オリジナル AMR 「YAMAZEN AMR（牽引タイプ）」

自動車メーカー、スズキ株式会社の電動車いすの技術から生まれた多目的電動台車「MITRA」をベースにした AMR。コンパクトながら、最大可搬重量約 500kg の牽引が可能です。工場内の段差などの悪路面や屋外でも走行でき、工程間・建屋間の搬送の自動化を実現します。2026 年 9 月 8 日（火）～ 9 月 11 日（金）に開催された「国際物流総合展」では、量産モデルに近い仕様の試作機を参考出品しました。



実証実験で使用したモデル

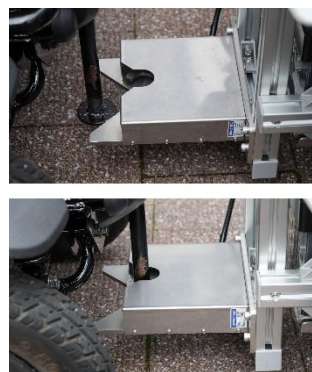


国際物流総合展で参考出品した試作機

<実証実験の様子>



4 輪モビリティを牽引する様子



自動連結の様子（上：連結前、下：連結後）

※ ニュースリリースの内容は発表時のものです。閲覧いただいている時点では内容が異なっている場合がありますのでご了承ください。

（お問合せ窓口） 株式会社 山善 広報・IR室 担当 米田
電話(06)6534-3095
E-mail : info07@yamazen.co.jp